

第13回全国シンポジウム

「地域推薦枠医学生の卒前・卒後教育をどうするか？」

～ICTを活用したこれからの地域医療／プライマリケア教育・研修を考える～

2022年2月18日(金)

於：オンライン開催(ZOOMウェビナー)

今年で第13回となりますオンラインでの全国シンポジウムを開催させていただきました。

今回のテーマは「地域推薦枠医学生の卒前・卒後教育をどうするか？」～ICTを活用したこれからの地域医療／プライマリケア教育・研修を考える～ということで、各大学・医療機関、行政、一般など全国から144名の方々にご参加いただきました。

2010年度から本格的に設定された地域枠医学生の定員は年々増加し、一定の人数が臨床の現場に出始めています。過去の本シンポジウムでは、地域枠医学生の教育手法および離脱予防を含めたキャリア構築について議論し、地域枠制度の運用に関する課題についてある程度の結論は得られました。地域枠の定員増から、来年度以降は地域枠医学生の定員の見直しが進められています。地域枠制度は一定の効果をもたらす、地域で就労する医師は増加しています。これから次々に出てくる地域枠卒業医師に対する教育は重要であり、そこにいみじくもCOVID-19で培われたオンライン教育が急速に進みましたそこで今回はテーマを～ICTを活用したこれからの地域医療／プライマリケア教育・研修を考える～とし、意見交換を行いました。

現状や問題点について把握する良い機会になったのではないのでしょうか。

ご参加いただきました方々、本当にありがとうございました。

－プログラム－

日 時：2022年2月18日(金曜日) 13:00～15:20

開催方法：オンライン開催(ZOOMウェビナー)

参加費：無料

参加者：地域枠医学生に関する事象に携わる自治体・大学・学生・医療機関並びに
地域医療教育に興味のある方々、地域医療支援センター関係者など

司 会：長谷川 仁志 先生(秋田大学大学院医学系研究科 医学教育学講座 教授)
嶽崎 俊郎(鹿児島大学 離島へき地医療人育成センター センター長)

～シンポジウム～

13:00 開会挨拶

鹿児島大学 離島へき地医療人育成センター センター長 嶽崎 俊郎

13:05 本会企画者 挨拶 開催趣旨説明

秋田大学大学院医学研究科 医学教育学講座 教授 長谷川 仁志 先生

13:10 「地域枠医師定員増の地域での効果と専攻医選択状況の特徴」

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 地域医療学分野 教授 大脇 哲洋

13:20 基調講演「地域枠の今後の展望」

厚生労働省 医政局医事課 主査 野口 裕輔 様

13:50 「デジタル教育を現場教育とハイブリットしてプライマリケア・地域包括ケア教育の経験値を向上する」

秋田大学大学院医学系研究科 医学教育学講座 教授 長谷川 仁志 先生

14:00 「デジタルを活用したこれからの地域医療実習・プライマリケア・臨床推論教材と評価」

自治医科大学 医学教育センター 准教授 松山 泰 先生

14:10 休 憩

14:20 「デジタルを活用した外科系遠隔教育の工夫」

新潟大学医歯学総合病院 総合研修部・医師研修センター 特任講師 磯部 真倫 先生

14:30 「biopsychosocial model の疑似体験による地域包括ケア教育」

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 地域医療学分野 講師 網谷 真理恵

14:40 「医学生・看護学生・薬学生のためのオンライン地域医療実習と今後の展開」

山口県立総合医療センター へき地医療支援センター センター長 原田 昌範 先生

14:50 討 論

15:20 終 了



司会



長谷川 仁志 先生



野口 裕輔 様



松山 泰 先生



磯部 真倫 先生



網谷 真理恵



原田 昌範 先生



討論